

抄読会

Burden of Narcolepsy

博士課程 3 年 鎌田悠太/ Yuta Kamada

概要

ナルコレプシー当事者への公的支援に関する議論に役立つようなエビデンスを創出するべく本研究を進めてきた。その研究成果が国際雑誌に掲載された¹⁾。本抄読会では、過去二年間における研究活動を改めて紹介するとともに、今後の予定として Patient Engagement という視点からのアプローチを共有した。

Reference

1. Kamada, Y., Imanishi, A., Chiu, S.W., and Yamaguchi, T. Burden of narcolepsy in Japan: A health claims database study evaluating direct medical costs and comorbidities. 2024; 114: 119-127. doi: <https://doi.org/10.1016/j.sleep.2023.12.020>

以上